

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「青年海外協力隊員と創るみなこい地域魅力発見マップ」作成
事業主体 (連絡先)	駒ヶ根協力隊を育てる会 長野県駒ヶ根市赤須町20番1号
事業区分	その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	473,080円 (うち支援金: 354,000円)

事業内容

隊員と地域住民の協働事業として、地域の魅力を発掘し、全国、そして世界へ発信するためのツール「みなこい地域魅力発見マップ作成」事業を実施した。

1. 駒ヶ根市街地の街歩き
住民とまち歩きを行い、訓練生活中の多くを過ごす駒ヶ根中心市街地の魅力を発掘し、住民と共有した。
2. みなこい地域の魅力体験ツアー
みなこい地域を巡ってもらい、季節ごとの見所や魅力を体感してもらう。発見した情報は訓練所内に張り出し、次の隊員へ情報を引き継いでいく。
3. 地域魅力発見マップ作成
1と2の取組で発見した魅力・見所を記載したマップを作成し、隊員と関係各所へ配布する。



【まち歩きの様子】



【魅力体験ツアーの様子】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1. 従来の訓練生活では触れられない魅力の発見と共有がなされた。その情報を知った隊員がそこを訪問するなどの効果が見られた。
2. 各取組を共同で行ったことで、今までにない形での隊員と住民の交流が図れた。
3. 「まち歩き」や「ツアー」時に事業者と情報交換をした結果、訓練所への出張販売や新企画の考案といった新規の取り組みを企画・実施できた。

【目標・ねらい】

- ①地域の魅力を発見・共有する
- ②隊員との交流機会増加
- ③新たな地域振興の取組を模索

※自己評価【B】

【理由】

地域との新たな交流を通して、隊員と住民にとっての魅力発見と共有し、隊員に地域への愛着を感じてもらうことができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

当会の青年海外協力隊員を支援するという活動趣旨に基づき、帰国した隊員が地域を再訪し、地域との交流を継続できる環境づくりに取り組んでいく。今年度事業で制作したマップ、発見した魅力、各種アイデアを活かして地域の国際化・活性化を図っていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある